

名取市

オオバでPFI調査

墓地公園整備・維持管理

宮城県名取市は、市民墓地公園の整備・維持管理業務のPFI導入可能性調査を指名入札した結果、1365万円（税込み）でオオバに決めた。

履行期限は3月12日。整備スケジュールは事業対象地となる閑上地区の復興まちづくりの進捗状況と用地の買収状況により流動的だ。国土交通省の2013年度震災復興官民連携事業「官民連携による市

民墓地公園の一体的整備・維持管理事業」に採択されており、実現すれば墓地公園へのPFI導入は全国で初めてとなる。

東日本大震災の津波被害を受けて現地で再建する閑上地区津波復興土地区画整理事業の東端部（同市閑上2丁目）に緊急避難的な高台公園機能を用意する市民墓地を整備する。犠牲者の墓地を復興交付

金事業として整備するほか、共同墓地の整備とこれらの一体的な維持管理業務に民間活力を導入する考えだ。

墓地数は550区画（標準区画2畧×2畧）を想定。整備区域の6割を緑地とし、芝生広場や修景広場、展望広場などを設けるほか、休憩所やトイレ、倉庫、駐車場なども整備する。震災がれきの盛土材転用なども検討している。